

## 米国EpiBiome社との共同研究契約締結に関するお知らせ

カルナバイオサイエンス株式会社は、マイクロバイーム（細菌叢）分野で画期的な新薬の開発に取り組んでいるエピバイーム社（米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコ、英名：EpiBiome, Inc、以下EpiBiome）との間で、共同研究契約を締結しましたのでお知らせいたします。両社は、新しい概念の治療法の開発に共同で取り組み、マイクロバイームが関係する疾患を対象とした画期的な医薬品候補化合物の創製を目指します。本共同研究は、当社が有する低分子化合物の創薬技術と、EpiBiomeのマイクロバイーム分野における深い知見と独自技術を最大限活用するものです。

当社の代表取締役社長 吉野公一郎は、本共同研究契約の締結にあたって次のように述べています。「革新的な創薬技術であるマイクロバイーム・プラットフォームに基づいた共同研究契約をEpiBiomeと締結できたことを大変うれしく思います。当社は昨年米国にC-Labを設立しましたが、今回の共同研究は、JLABS（Johnson & Johnson Innovationのライフサイエンス・インキュベーター）でのさまざまな交流の中から生まれた成果のひとつです。」

また、当社の取締役研究開発本部長 澤匡明は、次のようにコメントしています。「EpiBiomeのチームと協力し、新規性が高く、未開拓の分野であるマイクロバイーム研究を始めることを非常にうれしく思います。EpiBiomeが自社開発したマイクロバイーム・プラットフォームと、当社が持つ低分子化合物の創薬技術を組み合わせることで、治療が困難な疾患に対する画期的な治療法を開発できると期待しています。」

EpiBiomeのCEO兼共同創業者のニック・コンリー博士は次のように述べています。「EpiBiomeは、カルナバイオサイエンスのキナーゼ阻害薬分野における創薬技術を高く評価しています。マイクロバイームの働きを利用したこの共同研究が成功することを期待しています。」また、EpiBiomeのチーフ・サイエンス・オフィサー兼共同創業者のクリスティーナ・ツァイ博士は、「マイクロバイームのプロファイリングや、マイクロバイームが関係する疾患を対象とした医薬品候補化合物の開発で、カルナバイオサイエンスと協力していくことを楽しみにしています。」とコメントしています。

### **EpiBiome, Inc.について**

EpiBiomeは、精密なマイクロバイーム技術を有し、ヒトや農業分野での感染症に対し、抗生物質を使用しない効果的かつ持続的な治療法を開発し、FDA（米・食品医薬品局）の認可を取得することを目指しています。

経営陣は、チーフ・エグゼクティブ・オフィサー兼共同創業者のNick Conley 博士、チーフ・オペレーティング・オフィサー兼共同創業者のAeron Tynes Hammack博士、チーフ・サイエンス・オフィサー兼共同創業者のChristina Tsai博士、チーフ・メディカル・オフィサーのLucia Mokres獣医学博士、チーフ・テクニカル・オフィサーのBruno Marchon博士です。同社の所在地は米国カリフォルニア州サウスサンフランシスコです。EpiBiomeに関する情報は同社のホームページをご覧ください。 <http://www.epibiome.com>